

僕の遊ば場

保渡田古墳群

群馬中央中学校

1年5組 氏名小尾 柊斗

近所の保渡田古墳群-僕の遊び場はお墓?-

〈このテーマにした理由〉

・僕の家近所には、大きな古墳が隣接してる墓もある。小さい頃から、よく走り回って遊んだ。お墓だと気がたのは・・・最近です。近くにあったお墓、なぜあんなにも大きいのか？なぜ鍵穴？3つも必要？作るためにかかった日数や人の数は？その時の人々の食糧や仕事はどのようなものか？たのめか？埴輪のポーズが1つ1つ違うのには何か意味があるのか？色々と言調べたか、たかりです。

〈保渡田古墳群とは？〉

高崎市保土田町・井田町にある5世紀後半～6世紀初めに造られた3基大型前方後円墳からなる古墳群。最初に築かれたのが左にある井田二子山古墳、次に下の保渡田八幡塚古墳、最後に右の保渡田藁師塚古墳が築かれた。3基とも広大な二重の堀をめぐらし、多数の埴輪を立て並べた竪穴式の埋葬施設で、舟形石棺が用いられた。この古墳群に葬られた豪族は、ヤマト王権と強く結びつき、朝鮮半島とも関係をもった。その中で得た先進技術により、水路を造って地域を開発したり、馬の生産を行ったりして、この地域を支配した西毛地域を代表する支配者であったと考えられる。6世紀前半、木梨名山ニッ岳が2度の大噴火を起こした際に流れ出た土石流がこの一帯を覆ってしまった。被害がよほど大きかったのか、以後この場所に大型の前方後円墳が造られることはなくなった。



古墳について

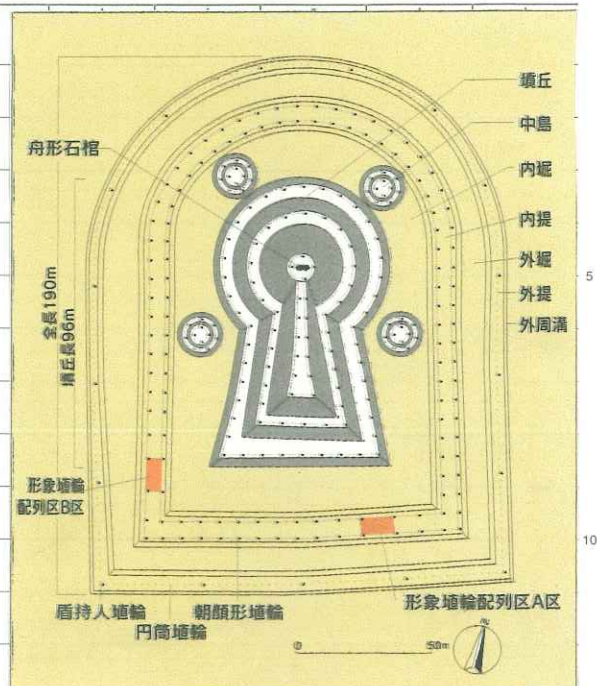
疑問1

〈前方後円墳はなぜあの形?〉

説1: 円形の部分は死者を葬った場所。方形へ行くための通路でのちに古墳の墳にあたる土易所となった。

いくつかの説があるらしいがいまのところはわかっていない。

ぜひ、造った人に聞いてみたいです。



疑問2

〈3つの古墳の方位が違うのはなぜ?〉

二子山と藁師塚は前方部を西に、八幡塚はそれを南に向け軸を違えている。古墳の軸線の決定には一定の約束事が存在したことがこれまでの研究で推定されているため、保渡田古墳群は、親見→子→孫という直系の系統でない可能性が濃厚だといえる。

僕だったら、日の出が見えるように東向きにする。

疑問3

〈何人で作ったの?〉

八幡塚古墳工事には62,000人が関わったと計算される。

機械がないから、肉体労働大変だなあ。みんなお給料は貰っていたのかな? お米かな? 疑問は、沢山出てくる

疑問4

〈どのぐらいの年月が掛かったの?〉

八幡塚古墳は1日に500人で毎日作業すると半年掛かると計算出来る。人口何人いたのかな? 人口の何割を動員したの? 1年中工事したのかな?

疑問5

〈工事費はどのくらい?〉

今のお金に換算すると10億円。その大半が人件費だ。しかし当時はお金の制度がない。

食糧給や多少の褒美があつたれば、収穫の少ない冬や不作の年は助かっただろう。

疑問6

〈王はお金持ち?〉

墓に10億円も支那4元のだからやはり王は大金持ちだったのだらう。

どこから10億円もあつめてきたのかなあ。



疑問7

〈八幡塚古墳の埴輪の数は?〉

6000本。この数は、焼く時や運搬時の破損率を1割と考えそれを加味した数字である。内訳は円筒埴輪が約5900本、人物・物物などの形象埴輪が約100本。粘土の推定は約109立方メートル。



疑問8

〈八幡塚古墳の土の量は?〉

約14500m³。10トンタンク1500台以上。堀の堀削で約6割石室保できるが、残りは周辺から運んだ。

疑問9

く八幡塚古墳の石の数は?

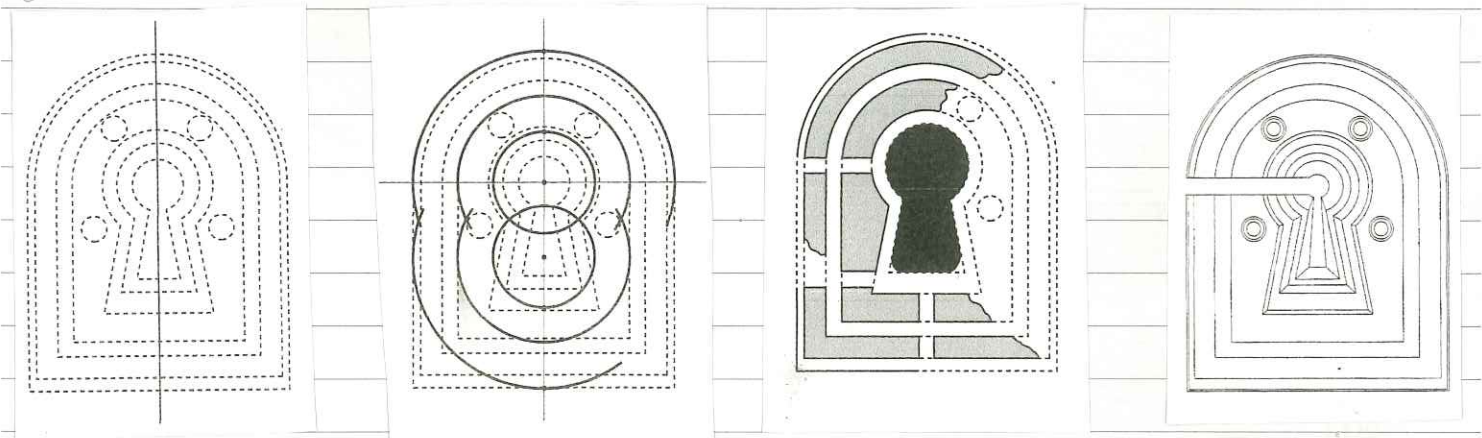
39万8千1個、石の大半は棒名山系の河原石のよう
だ。

疑問10

く古墳はどのようにつったの?

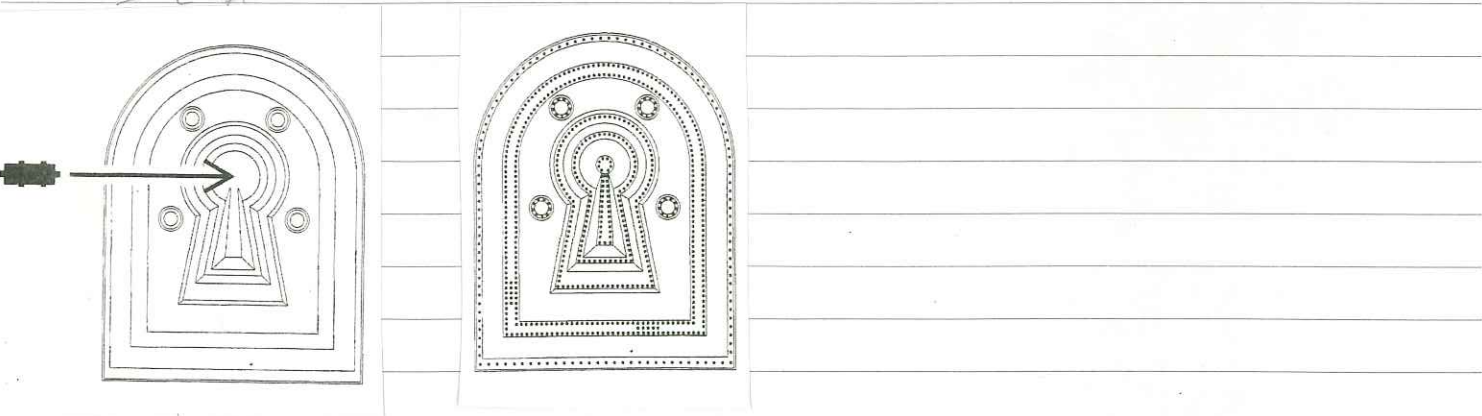
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1 選地
古墳を作る
場所を決め
る。 | 2 設計・縄張り
古墳の形と設
計する。 | 3 土工事
堀を掘り、
土を盛る。 | 4 石工事
形を整え、石
を置く |
|------------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|

る。



5 埋葬
石棺を運び入
れ、王を葬る。

6 墳車輪を
並べる。



疑問11

く石棺は、釜見音山から切り出した石らしい。どうやって運んだの？

大勢の人に曳かれてと記載があたが、家畜を使ったのではないだろうか。

疑問12

く沢山の埴輪が出土している。どのような意味があるの？

武士・相撲取り・狩人が琴を弾く人・矢の刺さった猪などバリエーションに富む。形象埴輪のうち、道具・家・鳥の埴輪は古墳時代前期から存在していた。これらは古墳の頂上に置かれ遺体のある場所を守り、厳かに飾っていた。

人・動物埴輪の盾持人などは、五世紀前半に現れ、古墳の外郭部に並べられた。古墳全体を邪悪なものから守護するためである。



疑問 13

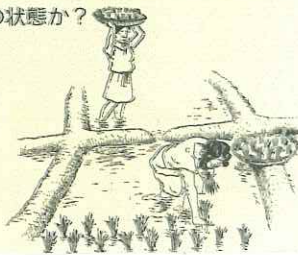
く保渡田古墳群の近くには水田が広がっていた。その水田は、畳1~2畳分のミニ水田だった。なぜミニ区画なの？

水田に水をためるには田面を平らに造成しなければならぬ大区画だと、造成工事や水路の引き回し工事に膨大な労力が掛かる。ミニ水田なら、地形に添った微調整が可能で造成や水路の建設の手間が格段に少ない。耕地を拡大し、乏しい水を活用する知恵といえる。



●完成した田

アゼが高く、田の面がきれいになっている。完成し、田植えを待つばかりの状態か？



●アゼを踏みしめる足跡

左足でアゼを踏み固めながら歩いて、アゼつくりの途中らしい。

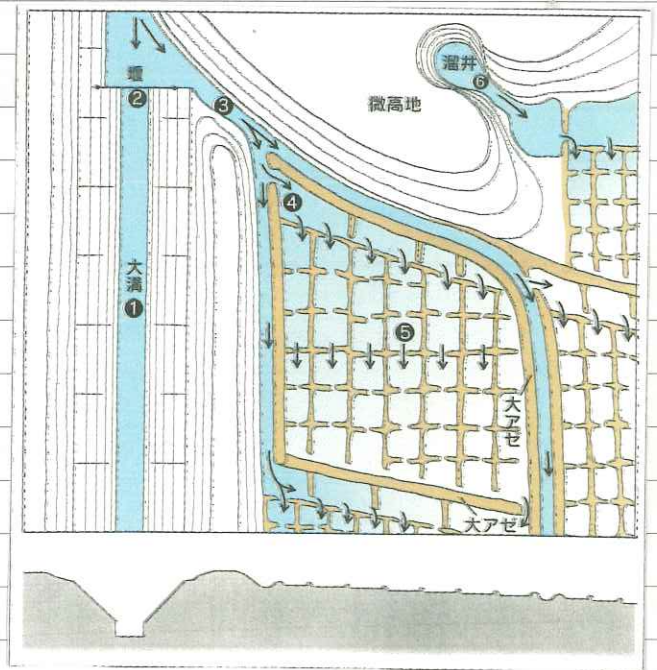


疑問 14

く保渡田古墳群の近くには河川がない。広大な水田にどのように水を引いたの？

人工水路を造成して水を引いたようだ。

川の近くに水田を造ったほうが良い気がするけど。



疑問15

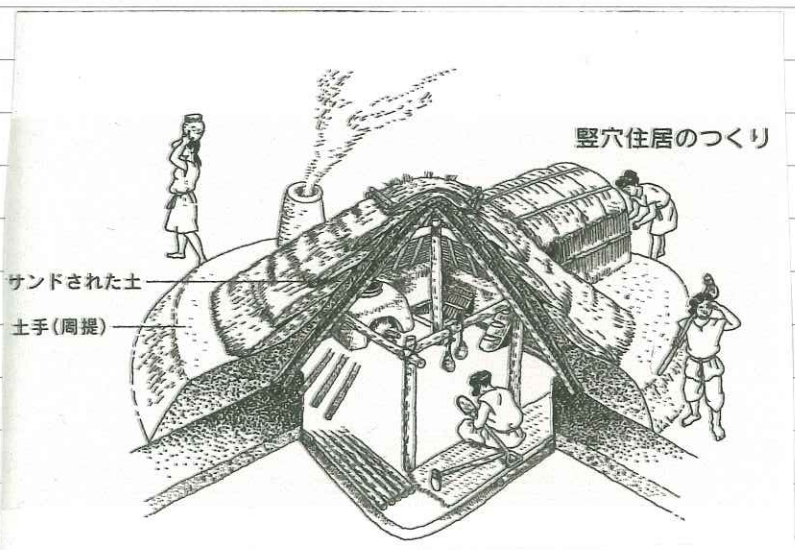
(住民はどのような生活をしていたの?)

竪穴住居に住み、内部のカマドで煮炊きをしていた。
また家畜を飼い、色々な祭祀を行っていたと考えられる。



(竪穴住居)

四角い穴を掘り、
テント形の屋根をか
けた建物。大きさは
5m四方程度が
標準である。
穴の深さは1m
内外。屋根は、垂木
の上に草を葺き、掘
った土をのせさらに
草を葺くというサン
ドイッチ構造の
土屋根である。



疑問16

(金のクツは、履いていたの?)

極薄の土金、装飾品が底にも散りばめられたことから実用品ではなく、宝器または、葬儀用だ、たのこはなにか
本物 復元



疑問17

(木崎山の噴火で被災した住民たちは、避難先出来たの?)

周囲に小型古墳が連続し、一部の水田が、復興し、集落域が山麓に移転していることから、一部は避難できたと考えられる。

まとめ

ずっと公園だと思っていた所がお墓だとわかって石棺を見た時はちょっと怖い気もしたけど、色々調べていくうちに昔の人々の原形や想いを感じられて、僕がおじいちゃんやおばあちゃんのお墓参りをしているように全然怖くないんだなと思うようになりました。

実際に古墳を造るという作業は、わかっただけでも想像できないくらい大変で今の僕だったら心が折れそうなことなのに、何個も作った昔の人々には尊敬してもしきれないです。

実際に見た訳でも聞いた訳でもなくいろいろの方が想像していることを調べてただけだけど、おからないことが多くても色々な古墳について調べてみたいと思いました。こんな近くにも気にはみないと思っけなことがたくさんありそうなので、これからもっと色々なことに興味を持

て過ごしてあげたら と思いました。

参考文献

東国文化副読本

よみがえる五世紀の世界かみつばの里博物館常設展示解説書

学研教育情報資料センター

小ノ社会16年 / 日本の歴史 古墳時代 / 里角解シート

まんが群馬の歴史 I 原始 古代編

古墳時代のサバイバル